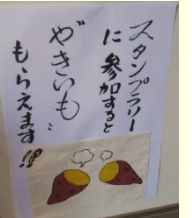


第4回 秋のサポーターズクラブまつり 報告

今年で4回目となる「秋のサポーターズクラブまつり」は、絶好のおまつり日和の11月25日(日)、大山街道ふるさと館全館を会場に開催し、858人の方にご来館いただき、盛況裡に終了しました。

<ふるさと館スタンプラリー>

ご家族や友人等のペアやグループなど78人の方が、大山街道ふるさと館に所属した7つのクイズに挑戦しました。問題カードを持って展示物を見ている姿が印象的でした。今年は景品として参加された皆さんに「焼いも引換券」や駄菓子をプレゼントしました。皆さんおいしそうに焼いもを召し上がっていた姿はほほえましく感じられました。



<大山街道 納め太刀体験>

例年より多い約50人の方々が、講師の佐藤忠氏のご指導のもと、江戸時代の「大山詣り」でかついだ「納め太刀(おさめだち)」を体験いただきました。



<アニメ上映会>

初めての試みとしてアニメを上映しました。小学2年の教科書にも載る「スイミー」、幼児に人気のある「はらぺこあおむし」のほか「三まいのおふだ」「わらしべ長者」などの日本昔話を上映しました。たくさんの親子連れの方々に見ていただきました。

<高津 さんの市>

地元、たちばな地区の採れたて野菜を二軒の農家さんが直接販売してくださいました。常連の方も多く、開店前から待つ人が多数おられました。いつもの通り瞬く間に完売でした。



<珈琲丸のドリップコーヒー>

高津駅の近くにあるコーヒー専門店「珈琲丸」さんが、ドリップコーヒーを出張販売してくださいました。おかげさまで完売でした。



<落語会>

真打 林家錦平師匠、前座 柳家あお馬さん 早くからファンの方々が並び、開場と同時に会場はいっぱいになりました。錦平師匠の落語は、観客の皆さんを笑いの渦に巻き込みました。また、来年もという声がたくさんありました。



第5回街道学習講座

なるほど！歩いて楽しい大山街道 同行記⑤ (二子新地～梶ヶ谷)

11月8日(木)、絶好の行楽日和の中、先ずは大山街道を歩く前に、二子の渡し跡、そして二子新地の昔の面影を残す場所を確認し、二子神社に向かいました。この境内には、岡本かの子文学碑「誇り」があります。岡本太郎の作品ですが、建築家の丹下健三が台座と築山を設計しました。その横には亀井勝一郎による文を、川端康成の書で記した石碑も立っています。しばらく眺めてから、大山街道を歩き始めました。

岡本かの子実家跡、かの子の兄の大貫雪之助が眠る光明寺、大河ドラマ「黄金の日々」で石川五右衛門の釜茹でに使われた大釜のある飯島金物店等に立ち寄り、その後、大山街道ふるさと館に着きました。

大山街道ふるさと館は展示室もあり、休憩を兼ねて参加された皆さんはじっくり見学されていました。

溝口水騒動の舞台となった大石橋を過ぎ、濱田庄司のお墓のある宗隆寺に立ち寄り、南武線を渡りました。

勾配のきつい、ねもじり坂を上り、笹の原地蔵堂の説明を講師の中平氏から伺えば、梶が谷駅はもう目と鼻の先です。

3回シリーズの街道学習講座の中で一番短い今回のコースですが、前回よりも時間がかかりました。見るべき史跡が多かったのでしょう。

次号では、11月22日(木)梶ヶ谷～鷺沼の街道学習講座をご報告します。



▲飯島金物店、左奥に大釜が見える



▲ねもじり坂

川崎市大山街道ふるさと館

<利用案内>

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (712) 0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示 10:00～17:00)

休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日



※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。団体登録・個人登録ともに申し込みができます。



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

第5回 “冬のふるさと館まつり” 大山街道フェスタ(2月24日)参加事業 まちの魅力伝わる3つのイベント



今年も大山街道フェスタ参加事業として、「冬のふるさと館まつり」を開催し、地域の皆さんの活動や街の魅力をご紹介します。

第3回企画展 地域が創出するカルチャー展 ～趣味が創り出す美と感動の世界～

ふるさと館で活躍している団体の方々に参加していただきます。作品に込められた出展者の熱い想いをどうぞご鑑賞ください。

- ◆ 平成31年2月23日(土)～3月1日(金) 午前10時～午後5時
※3月1日(金)は12時まで
- ◇ 大山街道ふるさと館 展示室 (入場無料)
- 参加団体(順不同): ・フラワーサークルリリー ・絵たより萌の会 ・短歌の会
・高津パステル ・なかよしクラブ ・麦の会 ・天爲溝の口俳句会

高津のまちアーカイブ展 ～二子・溝口を中心に～

ふるさと高津の魅力再発見をテーマに二子・溝口を中心に
移り変わるまちの風景を紹介します。

(高津区役所所蔵の写真などを展示します。)

- ◆ 平成31年2月23日(土)～3月1日(金)
午前10時～午後5時 ※3月1日(金)は12時まで
- ◇ 大山街道ふるさと館 スロープ展示 (入場無料)



▲武蔵溝ノ口駅北口(昭和41年頃)

第3回 歴史探究講座 大山信仰シリーズⅢ「大山道・大山を往く」

- ◆ 日時: 平成31年2月23日(土) 午前10時～12時
- ◇ 講師: 川島 敏郎氏(伊勢原市文化財保護審議会委員) ◇ 定員: 60人(先着順)
- ◆ 会場: 大山街道ふるさと館イベントホール ◆ 参加費: 500円(資料代含む)
- ◇ 申込: 平成31年1月23日(水)から電話、FAX、当館窓口にて受け付けます。

ミニ企画展 「多摩川沿いの村々 宇奈根・瀬田・下野毛」

多摩川は「母なる川」として上流から肥えた土を運び
農業用水を分けました。反面「暴れ川」として氾濫・洪水と
いう牙をむき、大きな被害をもたらしましたが、多摩川沿いの
村々に住む農民は、多摩川と共生してきました。多摩川・自然
の力を堤防などで抑え込むのではなく折り合いをつけ生きて
きたのです。



江戸時代まで多摩川は、武蔵国を流れる河川でありましたが、明治時代になり多摩川が神奈川県と東京都の県境の河川になりました。多摩川が台風・大雨や洪水などで流路を変えると村が異なる県・都に二分されることが起きました。このため、右岸(川崎市)と左岸(東京都)に同じ地名が10数カ所存在しています。二分された村々は多摩川を渡り行き来し冠婚葬祭等の同村としての意識を今も持って生活しています。

<子ども大山街道探検クラブ>活動報告

11月は、高津図書館で活動しているボランティアグループの「めんどり」のみなさんによる読み聞かせでした。「めんどり」のみなさんは子どもたちのために何回も集まって練習し、川崎にゆかりのある、かこさとしさんの「どろぼうがっこう」や、川崎、東北地方、外国、それぞれのむかし話などを、工夫をこらして読み聞かせてくれました。子どもたちは笑ったり頷いたりしながら、お話の世界に引き込まれていました。

12月は、新作にお住まいのベーゴマ名人・宮田守氏のご指導で、むかしから伝わっている遊びを体験しました。ベーゴマの持ち方や紐の巻き方についての手ほどきを受け、回そうとするのですが・・・、なかなか思うようにはいきません。でも、みんな何回も何回も粘り強く頑張っていました。その他にもコマ、けん玉、皿まわしなどの遊びに熱中し、活動を楽しみました。



西高津中学校「トライ・やる・DAY」(地域ふれあい体験学習会・収穫祭)に参加して

西高津中学校と地域教育会議が中心となって行った11月23日(金)の「トライ・やる・DAY」の行事は学校と地域との触れ合いを目的とするものです。大山街道ふるさと館もこの活動に協力しています。9時45分から2時間の体験学習会に参加し、地域巡りを行ってきました。小学生を含む1年生から3年生まで12名の生徒が、最初の1時間を教室で講義とビデオで地名について学習をして、後半を気持ちの良い秋晴れの中、地域の史跡巡りをしました。

ふるさと発見講座 川崎の発展に尽くした人物 第2回 久地円筒分水の設計者 ～水恩の人～ 平賀栄治



12月4日(火)、飯野君男氏を講師に、小林孝雄著『水恩の人 多摩川治水と平賀栄治』(2000年8月発行)をテキストとし、多数の参加者を得て講演会を行いました。飯野氏は、テキストの著者小林孝雄氏とは師弟関係にあることを話され、また平賀栄治の赴任先を訪ねて歩いた様子についても語られました。

平賀栄治は、1892(明治25)年に山梨県に生まれ、東京農業大学に進みました。卒業後、農業技術者として北海道、岩手県、朝鮮半島、奈良県等で実績を積み、神奈川県に赴任しました。この間、仕事と真摯に向き合った平賀栄治は、指導を受けた恩師・上司と強い絆で結ばれました。

神奈川県では多摩川右岸農業改良事務所長となり、宿河原堰改修工事、平瀬川・三沢川の改修工事に取り組みました。また、二ヶ領用水の水を灌漑面積に比例した分流する「円筒分水」の設計・建設を平瀬川改修工事と同時にしました。これらの工事の陣頭指揮を執ったのが農業土木技術者平賀栄治だったのです。

おわりに、川崎市民を洪水から救った平賀栄治氏は、本当に川崎の「水恩の人」であると結ばれました。

